

例 2 (5年生)

歯肉の状態-2(G)

相当広範囲にわたって歯間乳頭と歯肉辺縁に顕著な炎症のあるもの
 歯石沈着があって歯肉に炎症のあるもの
 歯肉肥大症(歯肉増殖症)が疑われるもの

その他の疾病及び異常

癒合歯、過剰歯、欠如歯、奇形歯、
 エナメル質发育不全、斑状歯
 ターナー氏歯牙、ハッチンソン氏歯牙、
 フルニ工氏歯牙、舌小帯異常、口臭、
 口蓋破裂、その他の軟組織疾患

要注意乳歯とは

- 1) 処置歯および健全歯で晩期残存のもの(後続永久歯の埋伏および先天性欠如が疑われるもので、画像診断による精査が必要なもの)
- 2) 軟組織障害などで抜歯の緊急性のあるもの
 ※歯冠崩壊歯はCとする。また、交換間近なものでう蝕がなければ健全歯、処置が施してあれば処置歯(O)、う蝕があれば未処置歯(C)とする。

年 齢	歯列・咬合・顎関節	歯垢の状態	歯肉の状態	歯	式	歯の状態						その他の疾病及び異常	学 科 所 見	校 医 年 月 日	備 考	
						乳 歯			永 久 歯							
				・現在歯(例 A 6) ・う蝕 未処置歯 C 処置歯 O ・喪失歯(永久歯) △ ・要注意乳歯 X ・要観察歯 CO	・歯周疾患 G ・歯周疾患 要観察 GO	現 在 歯 数	未 処 置 歯 数	処 置 歯 数	現 在 歯 数	未 処 置 歯 数	処 置 歯 数	喪 失 歯 数				
10 歳	0 1 ②	0 ① 2	0 1 ②	B 7 B 6 B 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8 O CO C O C E D C B A A B C D E 上 右 E D C B A A B C D E 下 左 B 7 B 6 B 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8 O CO C		1	0	0	24	4	4	0	先天欠 乳歯合歯	G 上顎前突 要注意乳歯 ①②	年月日	

癒合歯は近心の歯に(/)を記入し、その他の疾病及び異常の欄に記載する。

喪失歯とは、う蝕によって抜歯されたものをいう。外傷、歯周疾患による喪失および矯正の便宜抜歯、先天性欠如歯によるものは無印

学校歯科医所見

診察の結果、特に口腔・歯に問題がある場合はその旨をこの欄に記入して押印する

- 1.保健指導を要するもの
- 2.健康相談を要するもの
- 3.治療を要するもの
- 4.内科医等との対診を要するもの

例)CO,GO,G,要注意乳歯、反対咬合、上顎前突、開咬、叢生、正中離開、顎関節雑音、顎の偏位、開閉口障害など

<歯列・咬合・顎関節の診査において、2(要精検)と判断する基準>

精密検査を受けさせなければならないと判断するのは「かなり重度な不正咬合」としており、少々の歯並びの乱れを指しているものではありません。しかも、教育の立場からみているのですから、その歯並びの悪さで咀嚼障害があるとか、発音障害があるとか、歯並びが原因で精神的な影響が出ていて、児童生徒の学習に支障をきたすような場合がここでいう精密検査の必要なものとなるのです。保護者が子供の歯並びを心配して歯科医院を訪れるのとは全く意味が違います。